

平成30年度 事業報告書



社会福祉法人ユーカーリ福祉会

市川保育園

〒272-0034

千葉県市川市市川2-24-12

電話047-322-3363

FAX047-322-3364

はじめに

園 長

市川保育園が平成27年度より完全に民営化され4年間、指定管理期間を平成17年より10年間、合わせると14年がたち社会福祉法人ユーカリ福祉会が市川市という新しい地域に種を落とし、14年間でしっかり市川の地域に根付き幹も年々太くなってきたような運営をさせていただくことができた。その運営に際しましては、利用者や地域の方々、法人の役員各位、こどもたちに関わるすべての皆さんに支えていただけることで、安定した運営が平成30年度も終えることができたことに心より感謝を申し上げます。地域からは、りんごっ娘の会が新しく立ち上がり、手芸のボランティアサークルとして毎月、手作り玩具を制作していただいたり、こわれたぬいぐるみを直していただいたり、地域との交流が更に深まった1年となりました。保育内容では、和洋女子大学の伊瀬玲奈先生に来園していただき、保育士園内研修会を通して、「あたりまえ」を見直したら保育はもっとよくなる！というテーマで学びを深め、保護者が求めるような行事や早期教育ではなく、保育の中の生活やあそびを通して丁寧に保育を実践し、こどもたちが自ら学び成長できるような保育の実践に力を入れていきました。新保育所保育指針が改定されて数年が経ちますが、指針についても普段の保育のエピソードを通して指針の理解をより深め保育に生かしていき、振り返りや評価、反省を繰り返す、理想とする保育の実現に向けて全職員で協力し取り組むことができました。

食の提供では、市川南保育園との共通献立を活用し、2つの園が連携、協力しながら食事やおやつの内容がさらに向上し、アレルギーをもつ児童への対応も共通した対応ができた。食育活動も充実し、食への興味関心をさらに高めることができた。月に1度、市川南保育園の栄養士と市川保育園の栄養士が合同で会議を行い話し合いながら進めてきたことが向上につながった。今後も引き続き取り組んでいく。

保健関係では、感染症ガイドラインを全職員で周知し、衛生的で健康に保育園生活を送れるように、病気や怪我の対応も園医や職員同士で連携しながら丁寧に対応し、子どもたちや保護者、職員の健康な生活を支える事ができた。

地域の子育て支援では、子育て中の地域の保護者だけではなく、これから出産を迎える妊婦の方も保育園に来園していただき、出産から子育ての不安をできるだけ解消できるような支援を進めていく。フルーツポンチの会では離乳食教室やベビーマッサージ等様々な活動を通して子育て支援につなげることができた。

小学校との連携では、小学校の見学や教職員との話し合いの場をつくり、園児が安心して小学校に入学できるように連携を図ることができた。保護者からの相談等も小学校につなげ保護者の進学に対する不安な気持ちにも十分に寄り添うことができた。学校運営協議会の委員として小学校との連携を深めることもできた。

平成30年度も市川保育園の運営が円滑に進められたことは、法人役員各位や姉妹園のご支援と利用される保護者や地域の皆様のご支援、ご協力のお陰であると心より感謝を申し上げます。2019年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成30年度 市川保育園職務一覧表

- 園長 1名
- 主任 1名
- 副主任 2名
- 看護師 1名
- 事務長 1名

- 産明け、0歳児（いちごぐみ）5名
- 1歳児クラス（れもんぐみ）3名
- 2歳児クラス（ももぐみ）4名
- 3歳児クラス（ばななぐみ）2名
- 4歳児クラス（りんごぐみ）2名
- 5歳児クラス（ぶどうぐみ）2名
- フリー保育補助1名
- 栄養士 1名
- 調理員 3名
- パート保育士
- 保育補助 8名
- 調理補助 2名
- 産休育児休暇職員 1名（H30.5.5～産休）

平成30年度 採用職員

平成30年4月1日採用

〈正規保育士〉 3名

〈パート職員〉 2名

平成30年4月11日採用 1名

平成30年度異動職員（平成31年度より市川南保育園へ異動）
3名

平成30年度退職職員

- ・1名パート保育士（平成31年3月31日付）

園児構成

別園児構成表（初月在籍人数）

	産明け 0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
4月	15	18	24	25	25	26	133
5月	15	18	24	25	25	26	133
6月	15	18	24	25	25	26	133
7月	15	18	24	25	25	26	133
8月	15	18	24	25	25	26	133
9月	15	18	24	25	25	26	133
10月	15	18	24	26	27	25	135
11月	15	18	24	26	27	25	135
12月	15	18	24	26	27	25	135
1月	15	18	24	27	27	25	136
2月	15	18	24	27	27	25	136
3月	15	18	24	27	27	25	136

保育内容

保育目標・方針・コンセプト

保育目標	豊かな心と じょうぶなからだ みんなで仲良く、元気に遊べる子ども
------	-------------------------------------

- 保育園は、生活の場です。子どもたちを温かく受けとめ、一人ひとりの持っている自分でやろうとする気持ちを大切に、人として生きる力の基礎を育みます。
- 毎日が生き生きと充実した遊びにつながるよう、乳幼児期にふさわしい体験をし、豊かな心を養っていきます。
- 集団生活の中で、いろいろな遊びを経験したり、人とふれあいながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさや思いやりの心を育てていきます。

子どもたちのしあわせのための約束

- * やさしい心を育み、勇気をもって、やさしさを実践できる子どもに育てる。
- * 自主性・主体性を育てる集団づくりのなか、自分の目でみて、自分の耳できいて、自分の頭で考えて、いきいきと行動できる子どもに育てる。
- * 幼い命の成長に添おうとするすべての人々の叡智と、きめ細やかな養護、適切な援助、家庭支援等、誠実な実践によって共に学び合う。
- * 鋭い感受性を持った創造的な芸術家としての子ども、深い人間愛を身につけようとする
- * 生活者としての子ども、そのかけがえのない命が表現するよろこびを受容し、よろこびとかなしみを共有して行く。
- * 身体的にも精神的にも社会的にも健やかな子どもたちに育てる。

○地域交流 フルーツポンチの会年間実施報告

30年度年間延べ346組、394名の地域のお子さんの利用がありました。

4月19日 4月25日	小麦粉粘土・園庭あそび フラワーアレンジメント	8組 9組
5月17日 5月29日	親子で絵本タイム (絵本アドバイザー来園) ベビーマッサージ (講師来園)	13組 8組
6月8日 6月28日	園庭あそび&給食の試食 ダンボール迷路	10組 (子ども11名) 14組
7月5日 7月11日	流しそうめん 離乳食講座	24組 (大人22名) 11組
7月25日 7月27日 7月31日 8月1日 8月3日 8月22日	プール開放	6組 (子ども10名) 9組 (子ども11名) 7組 (子ども9名) 11組 (子ども19名) 5組 (子ども7名) 15組 (子ども20名)
9月6日 9月29日	絵の具あそび 運動会 未就園児競技参加	10組 20組 (子ども24名)
10月4日 10月18日 10月30日	ベビードリームアート体験会 園庭あそび&歯科検診 ハロウィン	15組 (大人16名) 8組 15組
12月12日 12月17日 12月21日	リトミック&給食の試食 食育〜だしのとり方〜 クリスマス会	8組 8組 (子ども9名) 20組 (子ども28名)
1月8日 1月11日	新年の集い もちばなづくり	12組 (子ども14名) 10組
2月1日 2月21日	節分会 せんべい焼き体験&園庭あそび	26組 (子ども27名大人27名) 17組 (子ども18名)
3月13日 3月19日	まつり寿司づくり 喫茶サロン エルゴカバーづくり	14組 (子ども16名大人15名) 13組

○委員会、係り活動報告

(1) 安全点検係

- ヒヤリハットがある際、スプレッドシートの欄及びヒヤリハット共有に記入し朝礼又は終礼の時に伝え全体で共有していく。

月末に各クラスと事務所のヒヤリハットの内容を確認していく。

- 毎月安全点検チェック表に各クラスチェックを入れてもらう。

9時～9時半の間に各クラスに行き担任と一緒に修繕が必要な場所を確認し写真を撮り会議の際に共有する。

各クラスの担任が修繕、作業日、業者に修繕依頼に分かれる。

- 月初めに保護者に以下の事をハグノートで伝える。
 - 玄関の鍵を閉める
 - 廊下の右側通行
 - 廊下走らない
 - 子どもと一緒に玄関まで行く
 - 玄関の鍵は大人が開ける。等々保護者にお知らせる。
- 3ヶ月位を目安に幼児のクラスの子ども達に5つの約束を伝える。16時にホールに幼児クラスの子に集合してもらい子ども役、保育士役を係とクラス担任で分け寸劇をする。
 - のらない、
 - もちこまない（あげない）、
 - 登園、降園、青桐公園に行くときは大人と。
 - 廊下は走らない。
 - 鍵は子どもが触らない
- ヒヤリハットのあった場所にマークを付ける。

(2) 防犯安全係

月1回不審者対応訓練を実施し、子どもたちを安全に避難させ役割分担に基づいて不審者への対応をしていった。職員を対象にした警察官による不審者対応訓練を年1回実施した。施設内の不審者対応環境チェックを毎月実施し、施錠されていない箇所がないか等を点検した。

延長保育時や土曜日に、事故などあった場合は必要に応じて近隣に住んでいる職員に応援を頼む。

平成30年度不審者訓練実施報告

月	発生時刻	侵入場所	避難場所	実践結果
4月	午前	玄関	0,1歳 各クラス 2歳 トイレの中 幼児 各クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者の合い言葉を確認した。 ・0歳は驚いて泣いてしまう子が多かった。1～5歳は落ち着いて集まることができた。
5月	午後	れもん組 テラス	産、0、1歳 産 明けテラス出入口 1歳 玄関 2歳 トイレの中 幼児 園庭	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者の合い言葉や連絡の方法を確認した。 ・放送や担任の声を聞いてすぐに集まることができた。
6月	午前	園外で 遭遇	近くで安全な場所	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育中に不審者へ遭遇、交通事故に遭遇した際の連絡、避難方法について確認した。
7月	土曜	いちご組 テラス	乳児 1歳保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜保育中の避難の確認をした。窓から不審者が中を覗いていることを想定し、カーテンをしめ、声を掛け合いスムーズに避難した。
9月	朝夕 延長 保育	朝玄関 夕園庭	乳児 1歳保育室 幼児 ホール 各クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士、迅速に連絡し合い、落ち着いて非難できた。 ・マニュアルに基づき、夕方延長保育時保育者の指示に従い慌てず避難できた。
10月	午前	園外で 遭遇	近くで安全な場所	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の声にすぐに反応し、落ち着いて集まることができた。
11月	午前	3歳児 避難口 から 4,5歳	0、1歳 クラス、園庭 2歳 トイレの中 幼児 園庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ばなな組裏口から侵入した。 ・0,1歳は園庭にいるグループと園内にいる子と別れてしまったが安全に行動できた。

		児保育室の方へ		
1 2 月	朝 延 長 保 育	園庭	乳児 れもん組 幼児 ホール	・笛で驚いてしまう子もいたが、すぐに避難できた。乳児クラスはホールからの内線で始めて分かり非難した。大きな混乱もなく避難できた。
1 月	夕 延 長 保 育	玄関	1歳 テラス出入り口 2歳 トイレの中 幼児 りんご組	・保育者の声がけにすみやかに集まることができた。
2 月	午 睡 中	玄関からの侵入。ホール窓	0、1歳 クラス 2歳 トイレの中 幼児 各保育室	・幼児組はホールから侵入した際、各クラスへの避難の確認した。 ・午睡中の子もいたが、あわてず集まることができた。
3 月	午 後	玄関から侵入して園庭テラスへ	0、1歳 保育室 2歳 トイレの中 幼児 園庭	・幼児組は全員園庭にいたので、笛は吹けず、子どもたちを守り、集めた。

(3) 親睦会係

職員の冠婚葬祭の対応を確認し、必要に応じて集金、メッセージカードの配布、アルバムの作成等を行った。

(4) 学習会係

各クラスごとに学習テーマを決め、1年間を通じて話し合い、実践を通し研究を深めた。

- ・0歳児 環境について
- ・1歳児 室内環境について
- ・2歳児 配慮の必要な子について
- ・3歳児 運動遊び～運動が苦手な子への配慮～

- ・4歳児 楽器あそびについて
- ・5歳児 ことわざとゲーム遊びについて

園内研修 6月 小野賢先生「乳幼児の運動遊びについて」

10月 伊勢玲奈先生「担当制保育について」

外部研修にも積極的に参加し、職員の資質の向上を図った。

また、市川保育園、市川南保育園交流研修を行い、保育士、保育補助、栄養士、調理員が10月～11月に交代で研修に行った。

平成30年度 職員研修

4月3日	園内研修 不審者対応さすまた訓練	23名
4月9日	園内救命救急講習会	18名
4月28日	パネルシアター研修	2名
6月1日	市川市保育施設研修会 求められる防災力	19名
6月4～6日	全国保育士研修大会	2名
6月5日	就学前研修	1名
6月22日	園内研修 乳幼児の運動遊びについて	13名
6月26日	幼児教育の強化と0～2歳児の保育の充実	1名
6月28日	給食施設における衛生管理	2名
8月3日	千葉県教育研究会市川支部急速部会公開研究発表会	1名
8月17日	学校欠席者・感染症情報システム研修会	1名
8月25日	全国飼育動物研究大会	2名
8月27日	わんぱくランチ研修 子どもの味覚と嗜好	2名
9月4日	保幼小連携アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム研修会	1名
9月7日	豆腐料理研修	5名
9月9,15,23日	保育士等キャリアアップ 食育・アレルギー研修	3名
9月10日	平成30年度改定保育所保育指針研修会	1名
9月13日	市川市保健所管内研修会	1名
10月8日	園内研修 担当制保育	16名
10月13日	園外研修 劇団四季アラジン	23名
10月16日	保育研修 ふれあいあそび	1名
10月23日	保育研修 楽器あそび	1名
10月15日～11月29日	市川、市川南交流研修	23名
10月24日	スキムミルク研修	1名
10月26日	ピアニカ研修	5名
10月29日	危機管理対応研修会	1名
10月30日 11月16日、2月19日 11月20日、2月15日	発達センター研修	4名
11月3,6,9日	保育士等キャリアアップ研修 乳児保育	1名
11月7,8日	全国保育士会研究大会	4名
11月10日	市川市子ども子育て支援施設大会 子どもの成長と	10名

	絵本	
11月17日	ユウカリ福祉会 法人研修会「子ども文化・文化財を再考するー保育の質を高めるために」	23名
11月21日	幼児教育の強化と0,1,2歳児の保育の充実	1名
12月9日	ちば・ちいさいなかまセミナー	2名
1月16日	足立区本木保育園 担当制保育研修	3名
1月23日	足立区六木保育園 担当制保育研修	2名
1月25日	プライバシーマークセミナー	1名
1月26日	保育者の集い	5名
1月29日	足立区中央本町保育園 担当制保育研修	2名
1月30日	子育て支援勉強会～気になる子の関わりについて～	2名
2月2,9,13日	保育士等キャリアアップ 保護者支援子育て支援	1名
2月5日	心身の健やかな発達を支援するブレインジム	1名

(5) 防災安全係

年12回の避難訓練と年2回の防災訓練を実施した。消火訓練も毎月実施した。

9月防災の月には、非常食体験でおにぎりをつくって食べたり、防災用品の点検を実施した。

(6) 楽しい食農委員会

・春、秋に野菜、花の苗を購入し各クラスでの栽培を実施した。水やりなどを積極的に行い、野菜の収穫の時にはその場で食べられるものは、その場で食べ食育活動を行った。

・四季の花をクラスごとに育てた。

・月1回の作業日には畑や園庭の整備を行った。

・伝統食づくり（うめぼし、みそ、もちばな、ちまき、干し柿等）を給食室と協働で取り組んだ。

4月	畑の整備 よもぎ摘み 春野菜に触れる	りんご組、ぶどう組 全クラス
5月	夏野菜の苗植え、種まき[1] ☆ちまき作り	全クラス 幼児クラス

6月	梅収穫 梅ジュース作り ☆梅干し作り（ヘタ取り、塩もみ）	ぶどう組 ぶどう組、りんご組、ばなな組、もも組 幼児クラス
7月	梅しそ漬け 梅干しを干す 梅干しを瓶に詰める	もも組、幼児クラス ぶどう組 りんご組、ぶどう組
8月	夏野菜の収穫	全クラス
9月	月見団子作り	ぶどう組
10月	冬野菜植え[2] 干し柿作り	全クラス
11月	キノコ収穫 だし	りんご組、ぶどう組
12月	冬野菜の収穫	全クラス
1月	切り干し大根作り	ぶどう組
2月	☆味噌作り	幼児クラス
3月	じゃがいも苗植え	りんご組

夏野菜

ぶどう組：きゅうり

りんご組：とまと

ばなな組：オクラ

もも組：なす、ピーマン

プランター

ゴーヤ、千成ひょうたん、とうもろこし
メロン、スイカ、かぼちゃ、おじぎそう

冬野菜

ぶどう組：人参

りんご組：こまつな

ばなな組：かぶ

もも組：ラディッシュ

全クラス：チューリップとヒヤシンス

(7) 広報委員会

保護者や地域の皆様へ保育園の様子を伝えた。

- ・園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりを月一回発行した。
- ・保育園玄関前の掲示板にて地域への広報活動を行った。
- ・保育園内の掲示物を、分かりやすく整理した。

(8) 園庭整備委員会

月1回園庭及び玩具の点検・整備を行い、職員全員で園庭整備を行った。また破損した玩具やカゴを補充して安全にあそべるようにした。

月1回放射能測定を行い、保護者に伝えていった。子どもたちに園庭の安全な使い方やルールについて計4回集会を行った。

大型遊具での怪我の発生原因や、発生場所をまとめ、職員間で気をつけていくことができるようにした。

また職員にアンケートを実施し、園庭環境がよりよく向上するように意見を求め、乳児用の砂場や三輪車の置き方の整備をしていった。

(9) 児童文化委員会

毎月作業日に絵本の入れ替え、整理、修繕を行った。

毎月、1日に各クラスのおすすめ絵本の台紙変更を行った。

5月に各クラスの絵本、紙芝居の1年分の発注を行った。

11月より、毎月月初めに職員によるブックトークを行い、本の紹介をした。

31年度のはなみずきの会のスケジュールを決め、川瀬理事と打ち合わせを行った。のわらべうたを取り入れ、子どもたちに届けていくことができた。

3月に31年度4月～6月の絵本・紙芝居を発注した。

(10) 生き物係

金魚、うさぎ倉庫掃除分担表作り、水槽のフィルターやえさ等の在庫管理表の作成をした。

3ヶ月に1回うさぎの爪きりを行った。

5月にうさぎ小屋の扇風機設置

H30.8月25日 全国学校飼育動物研究大会の参加

H30年11月1日に体調不良でうさぎのちょこ受診。薬の投薬。

H30年11月4日 ちょこ永眠

H30年11月5日 ちょことお別れの会を実施。

10年近く子どもを見守ってくれた、ちょことのお別れは子どもたちにとっても心に残るものとなった。

蚕の飼育を行い、繭になるまでの様子を園児と観察した。

(11) 衛生管理委員会

各クラスや共有スペースが清潔な環境を保っているかを点検し、掃除を行ってきた。月1回作業日を設け、職員全体で掃除を行った。

(12) 延長保育委員会

延長保育の充実を図るために、月1回の会議、玩具の点検を行っていった。

延長保育用の玩具を購入した。

マニュアルを作成し、職員全体で延長保育の進め方を確認した。また、児童の人数把握を確実にこなせるようにしていった。

(13) 異年齢交流合同保育委員会

主に幼児クラスを対象に異年齢交流が深められるように、毎月計画を立てていった。毎月のドロップデーを始め、給食・おやつ交流、午後の合同保育など、自分の好きな場所・あそびを選んで関わりながらあそびを楽しむことができた。

(14) 手作り玩具委員会

各クラスどのような手作りの玩具があれば保育が充実するかアンケートをとり検討していった。

月1回会議、作業日を設け職員で玩具を作っていた。

また、地域の方にも月1回園に来ていただき『りんごっ娘の会』として布玩具作り玩具の修繕などをしていただいた。

実習、ボランティアの受け入れについて

実習生の受け入れ（14名）

学校名	人数	資格	学年	実習期間
東京都市大学	1名	保育士	3年	平成30年6月11日～平成30年6月26日
東京都市大学	2名	保育士	4年	平成30年6月18日～平成30年6月30日
千葉明德短期大学	1名	保育士	2年	平成30年8月20日～平成30年9月4日
和洋女子大学	3名	栄養士	3年	平成30年8月30日～平成30年9月14日
東京経営短期大学	1名	保育士	2年	平成30年9月3日～平成30年9月14日
城西国際大学	2名	保育士	2年	平成30年11月5日～平成30年11月20日
東京家政大学	1名	保育士	1年	平成31年2月4日～平成31年2月21日
和洋女子大学	2名	栄養士	3年	平成31年2月6日～平成31年2月22日
東京未来大学	1名	保育士	2年	平成31年2月16日～平成31年3月3日

ボランティアの受け入れ

小中高校生が保育園に職場体験やボランティアに来園し、園児との交流を行った。

中高年ボランティアの受け入れ（市川市との提携）

大工、園芸、お琴、おはなしの会、保育ボランティア、手作りおもちゃづくりの受け入れを行った。

長年、大工ボランティアとして活躍していただいた、石原始さんが H31. 3 月に永眠された。

父母の会

父母の会と共同で、年 2 回会議を開き、行事の運営等で事前に要望やアイデアをいただきながら、進めていった。（夏まつり、運動会）

給食について

給食目標

- 正しい食生活の習慣を身につける。
（空腹を感じ「お腹がすいた」というリズムをもてることを大切にする）
- 偏食をせずに、何でも食べる。
（食べたいものや好きなものがたくさんあり、楽しく食事をすることを大切にする）
- 同じものを食べることにより、子ども同士励まし合い、何でも食べられるようになる。
（食べる時には、ひとりよりも誰かと一緒に食べたいなという気持ちが自然にわきあがってくることを大切にする）
- 食事のマナーを身につける。
- 食事の準備に関わろうとする気持ちをもち、配膳などできるところは自分で行う。

給食方針

- ①数多くの食品、調理法に慣れ、味覚形成と偏食防止をする。
- ②食品の持ち味を大切にし、塩味、甘味を控え薄味にする。（成人病予備群を作らない）
- ③種々の食品をバランス良く（量と質、主食、副食、汁物）食べる。
- ④適温給食を心掛ける。
- ⑤食器は全て安全な白磁器を使用する。

⑥乳児期の授乳・離乳食をはじめ、食物アレルギー対応食など、一人ひとりに対応し、食事指導や相談など配慮をし、保育園でできる限り最大限の個別ケアをする。

献立内容

- 献立は、季節に合わせた旬の食材を取り入れて、お米を中心とした乳幼児向きの和食とした。又、アレルギーフリーの献立も充実させる事ができた。
- 食育の視点から献立作成を行い、行事食や食育活動を楽しめる献立の工夫ができた。
- 市川保育園と市川南保育園の統一献立を合同会議や、交流研修などで、検討を重ね、新メニューの開発、そして、既存の献立の減塩に取り組んだ。

離乳食

- 個々の発達に合わせて、離乳食を丁寧に進めることができた。
- 離乳食食材一覧表に添った食品の進め方を、保護者と確認を取り合いながら安全に提供することができた。
- 自分で食べる楽しみを持てるよう、手つかみ食べから、スプーンの使い始めを見守り進める事ができた。

災害時の非常食

- 水や火を使わずにアレルギーフリーの全員が安心して食べられる非常食を備蓄、確認した。
- 賞味期限の確認を行い、必要に応じて交換した。(非常食体験の日に食べる)

衛生管理

- 給食施設の衛生管理について、研修に参加し、更なる衛生知識の向上に努めた。
- 厚生労働省大量調理施設管理マニュアルに基づき点検、記録を行い衛生面に十分に配慮した。
- 給食に関わる職員は検便検査を実施した。

家庭との連絡

- ① 給食の展示をして、保護者にも給食に関心を持ってもらった。
- ② hugnote にて当日の献立や食育活動の写真も掲載し分かり易く知らせる事ができた。又、献立表や給食たよりも hugnote の配信にて行った。

② 食物アレルギー対応食は生活管理指導表に基づいて行い、解除に向けて進められるよう情報提供を行った。

④地域交流の集い（フルーツポンチの会）では、「離乳食教室」「食育・・・だしの取り方」「給食の試食」「まつり寿司作り」等を実施し、又、食事に関する相談を受けた。

* 給食は和食を中心としたアレルギーフリーの給食を提供しています。昨年度は他県から大学関係者の視察や千葉県議会議員、松戸市議会議員が視察に来園し、又、地域外の栄養士会からの依頼を受けアレルギーフリー給食についての講演を行いました。アレルギーフリー給食のすばらしさを全国に発信することができました。また、和食を中心とした食事を提供し、和食文化が次世代にもつながるように和食のすばらしさを子どもたちや保護者、地域に伝えることも出来ました。

給与栄養目標量

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	基準値に対する割合
1～2 歳児	467	18.7	14	50%
3～5 歳児	574	23	18	45%

保健

・施設内の定期的な清掃・消毒の実施と実施状況の確認により、安全で衛生的な環境を保持できるよう努めた。

・在園児の健康状態を出席簿や家庭からの連絡内容等もふまえて把握し、周囲の人にうつしやすい疾患や、よく見られる症状の発生状況を取りまとめ、現状を発信した。毎月配布する保育園だより等で、必要な保健情報を提供し、施設利用者(園児・保護者・職員)の罹患予防に努めた。また、発症件数によっては嘱託医・市川市へ報告し、連携をとりながら対応した。

・衛生習慣の定着・健康増進目的に、園児に向けて保健衛生指導を実施した。指導内容によっては、園児が家庭でも徹底できるよう、指導内容を保護者へも呼び掛

けた。地域交流の集い(フルーツポンチの会)において、近隣在住の未就学児とその保護者へ歯の衛生情報を伝えた。

月	園だよりテーマ	保健指導対象クラス	保健指導内容
4月	早寝・早起き・朝ごはん		
5月	事故防止		
6月	感染性胃腸炎対策	3・4・5歳	歯磨き
7月	熱中症予防		
8月	夏の感染症		
9月	生活習慣を整えましょう		
10月	眼の愛護デー	3・4・5歳	手洗い・うがい
11月	予防接種推進・歯の健康	2・3・4・5歳	歯みがき
12月	咳エチケット	3・4・5歳	鼻のかみ方
1月	インフルエンザについて		
2月	基本的な体調管理		
3月	耳の大切さ		

・園内に配置している保健衛生材料の管理を徹底し、各設置箇所への払出状況から清掃・消毒業務内容の見直しや、事故防止のための環境整備の強化に結び付ける指標として活用した。

・保健の各種検査・診察をスケジュールに沿って実施し、在園児の健康管理と健康増進業務に活用した。

体調不良型の病児保育

園児を対象に保育中に体調不良になった児童を保護者が迎えに来るまでの間、適切な看護をしながら保育を実施した。年間延べ利用人数は40人だった。

保健の各種検査・診察のスケジュールと内容

項目	対象	日程	内容や実施結果
内科検診	全園児	5月 10月	各園児の健康面における情報や園内の各種感染症の発症状況を嘱託医と共有しながら、発信した。所見があった園児へは嘱託医の指示のもと保護者へ報告し、その後の経過観察につなげた。
産明け検診	産休園児	毎月1回	
眼科検診	全園児	6月	所見があった園児へは嘱託医の指示のもと保護者へ報告し、その後の経過観察につなげた。当日受診出来なかった園児へは、後日嘱託医の医院へ受診してもらうよう働き掛け、受診率を高めた。
歯科検診	全園児	5月 10月	当日までの間の在園中の歯とその周囲の打撲等の怪我也もふまえた上での検診を依頼し、現状を把握した。 所見があった園児へは嘱託医の指示のもと保護者へ報告し、その後の経過観察につなげた。
発育測定	産明け・0歳 1・2歳児 3・4・5歳児	毎月 隔月 3カ月毎	身長・体重・頭囲の測定
蟻虫卵検査	全園児	5月	1回採卵式。異常所見なし
尿検査	3.4.5歳	6月	66名中1名潜血(+)他異常所見なし
歯磨き指導	全園児	6月	発達状況を踏まえ、絵本や紙芝居、歯の模型を用いて、歯磨きの必要性和安全に歯磨きをするためのルールを伝えた。各自による歯磨き終了後は職員による仕上げ磨

			きを実施。
検便検査	全職員	毎月1回 内、給食作成業務 従事者は5~10月 は2回/月	赤痢菌・サルモネラ・腸管出血性 大腸菌 検出なし
視力測定	3.4.5歳	5月 10月	ランドルト環単独指標による検査 を実施。 検査結果はA(1.0まで見える)・ B(0.7以上1.0未満)・C(0.3以上 0.7未満)・D(0.3未満)の4段階で 報告した。

平成30年度 避難訓練実施報告					
月	想定	発生場所	避難場所	実施結果	その他
4月	火災	給食室	園庭	ベルの音を聞いてすぐに集まることができた。乳児はベルや放送の音があまり聞きとれなかった。	<u>避難通路・設備確認</u>
5月	地震火災	給食室	園庭	ベルの音を聞き、保育者の指示に従い慌てず、静かに避難できた。消防署の方の話を聞いたり 消火器の使い方を再度学んだ。	<u>防災訓練強化月間で、消火器の使い方を学んだ</u>
6月 延長時 予告せず実施	火災	ホール 横民家	保育室	夕方延長保育時小さい子もいて少し不安な様子もあったが落ち着いて避難できた。	<u>避難通路・設備確認</u> <u>夕方延長保育中の避難訓練</u>
7月	火災	ホール 横民家	室内	午睡明けでまだ寝ている子もいたが泣くこともなく落ち着いて避難できた。	<u>午睡時避難訓練</u>

8月	火災 地震	玄関前 民家	ホール	ベルの音に驚いてしまう子もいたが、落ち着いて避難できた。	
9月	火災 地震	給食室	園庭	ベルの音を聞き、保育者の指示に従い慌てず、静かに避難できた。消防署の方の話を聞いたり、消火器の使い方を指導していただいた。	<u>防災訓練強化月間避難通路・設備確認 消火器訓練</u>
10月	火災 突風、竜巻	0才児 保育室	ホール	ベルの音に驚く様子はあったが落ち着いて避難できた。 突風、竜巻の話もよく聞いていた。	<u>ケガの対応訓練を行った</u>
11月 予告 せず実 施	地震火災	玄関前 民家	園庭	口を手でおさえながら静かに落ち着いて避難できた。	<u>日にち、時間を決め ずに行った</u>
12月 予告 せず実 施	火災	近隣民 家	園庭	防寒具、防災頭巾を持ち、スムーズに避難できた。	<u>避難通路・設備確認</u>
1月予 告 せず実 施	火災	給食室	園庭	遊具の上にいる子が慌てていたので声をかけた。 上履きのまま園庭に出ることに戸惑っている様子だった。	
2月午 前 延長時 予告せ ず実施	火災	玄関前 民家	乳幼児 別に避 難	延長保育中で子どもが少なくすみやかに行動できた。 乳児はクラス待機、幼児はテラスに避難した。	<u>午前延長保育中</u>
3月	地震火災 津波	給食室	市川 小学校	転倒したり、靴が脱げてしまっても泣かずに歩くことができた。避難経路を再度確認できた。	<u>総合訓練として、地域の広域避難場所への避難経路の確認等を行う</u>